

IR REPORT

第44期 第2四半期株主通信

2023年1月1日～2023年6月30日



新たな中期経営計画のもと 国際物流において存在感を発揮するべく 事業拡大を続けてまいります

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
当社グループは当連結会計年度が初年度となる第5次中期経営計画（2023年度～2027年度）に基づき、国際総合フレイトフォワードラーとしてさらなる成長をめざしてまいります。

2023年度上半期の市場動向

わが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限の緩和により、経済活動は回復しつつあります。一方、世界的なインフレに伴う物価上昇が日常生活にも影響を及ぼしてきており、先行き不透明な状況が続いております。海上輸送の現状につきましては、コンテナスペースの需給バランスの正常化により、昨年まで高騰していた運賃の下落が続いております。

当第2四半期の業績

単体の輸出入につきましては、運賃の下落や取扱数量の減少が響き減収減益となりました。国内子会社におきましては、株式会社ユーシーアイエアフレイトジャパンは、主力とする航空輸送の需要減退により減収減益となりました。一方、フライングフィッシュ株式会社は、得意とする食品輸入において、昨年まで続いた巣ごもり需要が落ち着いたことと、在庫調整により取扱数量が減少したこと等により減収となりましたが、利益の確保に努めた結果、増益となりました。

海外子会社では日本からの貨物の取扱が売上高の大半を占めておりますが、近年では日本発着以外のサービスも強化、推進しております。当第2四半期連結累計期間におきましては、運賃の下落及び日本からの混載貨物減少の影響を受け減収減益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は16,231百万円（前年同四半期比31.1%減）、営業利益は2,271百万円（同27.6%減）、経常利益は2,443百万円（同26.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,646百万円（同27.4%減）と前年比において減収減益となりました。

代表取締役社長 小嶋 佳宏



トピックス

TOPICS 1

韓国・釜山新港での 倉庫事業で韓国政府から表彰

当社は韓国・釜山新港での新規貨物の誘致や雇用の創出で地場経済に貢献したとして、2023年1月に産業通商資源部(日本の経済産業省に相当)から大賞にあたる長官賞を授与されました。外資系企業が受賞することはまれであり、非常に名誉のある賞です。韓国では内外釜山ロジスティクスが2016年に「釜山第1倉庫」の運営を開始し、内外釜山物流センターが2019年に「釜山第2倉庫」の運営を始めました。2021年に第2倉庫の敷地内に冷蔵倉庫を建設、さらに2023年には新倉庫を取得しました(下記)。各倉庫を活用し、今後も韓国での3PL(物流一括受託)事業などに力を入れていきます。



表彰を受ける岩貞取締役(左)

TOPICS 2

韓国で3万平方メートル倉庫取得 事業拡大のため韓国子会社に増資

韓国の連結子会社、内外釜山物流センターが2023年5月に釜山新港地域の物流倉庫(2棟、倉庫面積計約30,200平方メートル)を取得しました。同倉庫は敷地面積が56,846平方メートルと従来の2つの倉庫(内外釜山ロジスティクス、内外釜山物流センター)の総敷地面積とほぼ同じ面積にあたる非常に大きな倉庫で、取得額は約180億ウォン(約18億円)となっています。当社は韓国でのビジネス拡大のため、内外釜山物流センターに対して260億ウォンの増資を行いました。インドなどで手掛けている倉庫とあわせて、将来的に倉庫事業を貨物輸送事業と並ぶ新たな柱へと育てていきます。



新倉庫

TOPICS 3

首都圏での営業強化のため 東京本社を設置し「二本社制」に

首都圏における、より一層の営業推進や情報収集の機能強化、並びにさらなる事業成長のための優秀な人材の確保などを目的に2023年4月、東京支店を「東京本社」に改称し、「大阪本社」との「二本社制」としました。

新たな組織体制のもと、お客様のご期待に沿うよう最善を尽くして取組んでまいります。

なお、大阪本社の機能に変更はありません。

内外トランスライン株式会社
東京本社
〒103-0027
東京都中央区日本橋三丁目8番2号
新日本橋ビル6階

連結財務指標

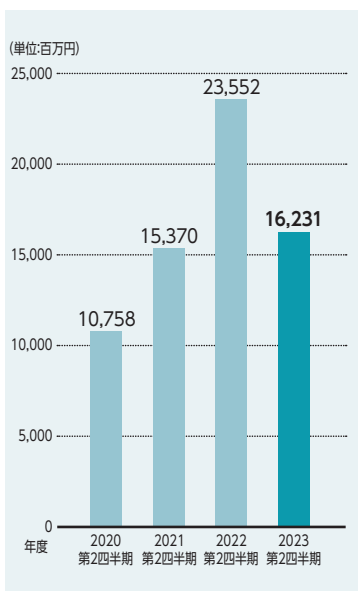
当四半期の業績 (2023年1月～6月)

売上高

16,231 百万円

前年同期比

31.1%減



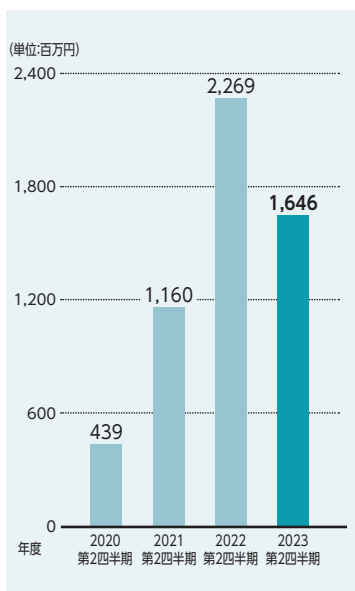
主力となる輸出混載貨物は、コンテナスペースの需給バランスの正常化により、昨年まで高騰していた運賃の下落が続いています。また、海外子会社においても日本からの混載貨物の減少による影響を受けた結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は16,231百万円(前年同期比31.1%減)と減収となりました。

親会社株主に帰属する 四半期純利益

1,646 百万円

前年同期比

27.4%減



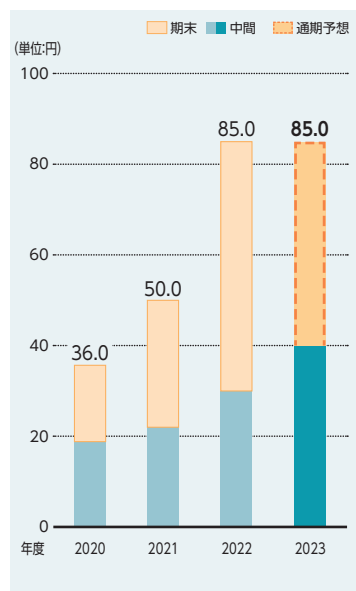
コンテナ運賃の下落に加えて、コンテナの取扱数量も減少したため、前年同期比で減益となり、営業利益 2,271百万円(同27.6%減)、経常利益 2,443百万円(同26.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,646百万円(同27.4%減)となりました。

1株当たり配当金

40.0 円

前年同期比

10.0円増



業績の推移並びに財務状況などを総合的に勘案しつつ、安定的な配当の継続実施を将来にわたり堅持する方針のもと、当第2四半期の配当金は前年同期比10.0円増の40.0円とし、通年では計85.0円とする予定です。

キャッシュ・フロー指標

(単位：百万円)

	2020年度 第2四半期	2021年度 第2四半期	2022年度 第2四半期	2023年度 第2四半期
営業活動による キャッシュ・フロー	702	1,190	2,349	1,411
投資活動による キャッシュ・フロー	△35	△412	△28	△1,978
財務活動による キャッシュ・フロー	△220	△264	△339	△695
現金及び現金同等物の 四半期末残高	6,656	7,515	11,302	13,625

資産関連指標

(単位：百万円)

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度 第2四半期
総資産	12,784	16,752	22,133	23,037
純資産	9,864	12,700	17,510	19,377
自己資本比率 (%)	72.0	71.6	75.2	80.3

1株当たり指標

(単位：円)

	2020年度 第2四半期	2021年度 第2四半期	2022年度 第2四半期	2023年度 第2四半期
1株当たり四半期純利益	45.17	119.25	233.00	168.97

会社概要

会社概要

2023年6月30日現在

社名	内外トランスライン株式会社 (英名：NAIGAI TRANS LINE LTD.)	
設立	1980年5月1日	
代表取締役社長	小嶋 佳宏	
従業員数	714名(連結)	
資本金	243,937,240円	
上場市場	東京証券取引所 プライム市場	
加入団体	FIATA IATA 国際フレイトフォワードーズ協会(JIFFA) 日本貿易振興機構(JETRO) 大阪商工会議所 東京商工会議所 神戸商工会議所 名古屋商工会議所 横浜商工会議所 福岡商工会議所 北九州商工会議所 東京通関業会 横浜通関業会	

役員一覧

2023年6月30日現在

代表取締役社長	小嶋 佳宏
専務取締役	大川 友子
常務取締役	戸田 幸子
取締役	三根 英樹
取締役	東 宏尚
取締役	岩 貞均
社外取締役	中澤 圭亮
社外取締役	矢部 光識
取締役(常勤監査等委員)	長谷川 豊
社外取締役(監査等委員)	敏森 廣光
社外取締役(監査等委員)	遊上 利之

株式の状況

2023年6月30日現在

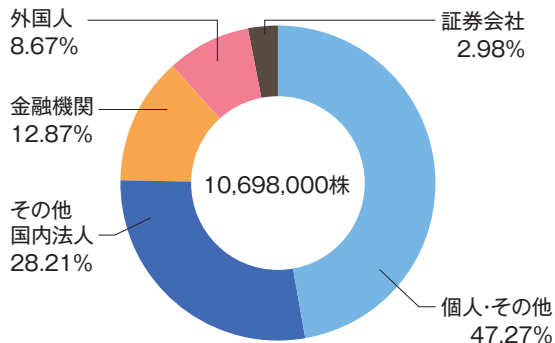
発行可能株式総数	32,000,000株
発行済株式の総数	10,698,000株
株主数	12,900名

大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
合同会社エーエステイ	2,121	21.69
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	860	8.79
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口)	376	3.85
内外トランスライン従業員持株会	335	3.43
戸田 徹	320	3.27
株式会社ときわそば	250	2.56
日章トランス株式会社	232	2.37
トランコム株式会社	220	2.25
常多 晃	150	1.54
宇野 友子	136	1.40

(注)当社は、自己株式915,087株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除しております。

所有者別分布状況



国内事業所 2023年6月30日現在

大阪本社
(大阪市中央区備後町二丁目6番8号)
サンライズビル5階

福岡営業所

東京本社
(東京都中央区日本橋三丁目8番2号)
新日本橋ビル6階

横浜支店

名古屋支店

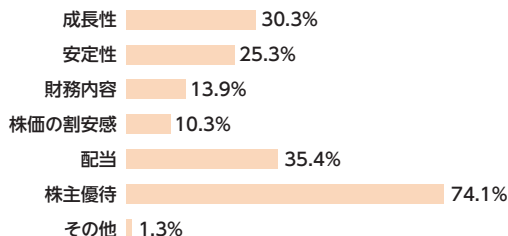
神戸支店

2023

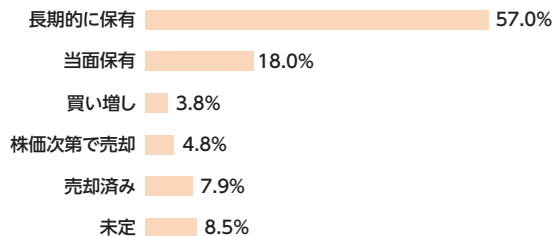
株主アンケート 結果のご報告

2022年12月期株主優待お申し込みハガキで実施いたしました「株主アンケート」では、全株主様の89.9%に当たる15,932名の方々からご回答いただきました。ご協力いただきました皆様に御礼を申し上げますとともに、集計結果の一部をご報告いたします。

質問 1 当社株式の購入理由(複数回答)



質問 2 今後の方針



株主様の声 (一部)

1 株主通信はいつもしっかり読ませていただいています。経営者のビジョンがハッキリしていて安心して保有できます。

2 健全な経営で将来性を感じます。社員一丸となってよい会社になってください。

3 女性の管理職の方が比較的多くいらっしゃり、素晴らしいと思いました。今後も多様な方が活躍できるような取組みがありましたら是非ご紹介いただきたいです。

優待品ご紹介

ご好評をいただいております株主様ご優待。前回(2022年12月期)、特に人気の高かった商品をご紹介します。

1,500円相当分



100%ピュアジュースみかんしぼり (180ml×5)



新宿二幸 大食堂の味 7食セット



鎌田醤油 だし醤油 500ml 2個セット



サマーギフトゼリー

2,500円相当分



秋田産あきたこまち 5kg



日清 オリーブオイル & パラエティオイル



祇園さ>木 パウンドケーキ 3種セット



花王 アタック 抗菌EX パラエティギフト

保有株式数に応じて商品(カタログより選択)または社会貢献団体へ寄付

◆100株以上200株未満 1,500円相当 ◆200株以上4,000株未満 2,500円相当 ◆4,000株以上 5,000円相当

株主メモ

事業年度：毎年1月1日から12月31日まで

定時株主総会：毎年事業年度終了後、3か月以内に開催いたします。

基準日：定時株主総会 12月31日
期末配当金 12月31日
中間配当金を行う場合 6月30日

株主名簿管理人：東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
みずほ信託銀行株式会社

公告方法：電子公告の方法により、下記ホームページに掲載いたします。
ただし、事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
<https://www.ntl-naigai.co.jp/>

単元株式数：100株

上場取引所：東京証券取引所 プライム市場

証券コード：9384

お問合せ先：〒168-8507

東京都杉並区和泉2-8-4
みずほ信託銀行 証券代行部
フリーダイヤル 0120-288-324
(土・日・祝日を除く9:00～17:00)

電子提供制度専用ダイヤル
0120-524-324
(土・日・祝日を除く9:00～17:00)

お取扱店：みずほ信託銀行
本店および全国各支店(※)
(※)トラストラワンジではお取扱いできませんので
ご了承ください。

未払配当金のお支払：みずほ信託銀行 本店および全国各支店(※)
みずほ銀行 本店および全国各支店
(※)トラストラワンジではお取扱いできませんので
ご了承ください。

お取扱窓口：証券会社等に口座をお持ちの場合、住所変更や買取請求等株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社等経由で行っていただくこととなりますので、ご利用の証券会社等へご連絡をお願いいたします。
証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)、上記のお取扱店にてお取次いたします。
なお、支払明細の発行に関するお手続きにつきましては、みずほ信託銀行の上記連絡先にお問合せください。
また、株主総会資料の電子提供制度(書面交付請求)につきましては、口座を開設されている証券会社またはみずほ信託銀行の上記連絡先にお問合せください。



表紙写真：釜山港

釜山港は大韓民国最大の規模と貨物取扱量を誇り、2022年の貨物取扱量は世界第7位、また、コンテナ貨物の取扱においては世界トップクラスのハブ港湾です。世界的な物流量の増加を受けて、より大規模な物流インフラ整備の必要性が高まり、新たなコンテナ蔵置場の確保や新港の建設が望まれており、新たに鎮海新港建設が計画されています。この鎮海新港は超大型ターミナルとして建設予定であり、物流需要の拡大に対応する重要なインフラとなることが見込まれています。
また、釜山新港の東側に位置する加徳島には、2035年開港をめざす24時間の運用が可能な新空港建設も予定されています。これらの取組みにより、釜山港エリアはより一層の発展が期待されています。

内外トランスライン株式会社

〒541-0051 大阪市中央区備後町二丁目6番8号 サンライズビル5階
TEL 06-6260-4710 FAX 06-6260-4713

